

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス



コミケットやホビーを取り巻く状況はどんどん変わっていきます。でも、変わらないものだってありますよね。

また、暑い熱い夏コミがやってきます！ 暑さ対策は万全ですか？ 持ち物の用意は？

皆で3日間を思い切り楽しみ、そして無事に過ごしましょう。それがコミケットを未来に繋ぐってことなんです！

■■虹(レインボーブリッジ)の彼方に■■

去年の夏コミでは、あまりの湿度にホール内に^{もや}霧がかかったり、屋外では温度計が壊れるなどの現象が見られるに至った。過酷な環境の中で最大限自分の活動力を維持し、欲しかった物を手にすることができるか。今回の夏コミがどうなるにせよ、あえてそれに挑む以上は頭脳にも身体にも、対処方法と準備をいっぱいにして、会場に向かう必要がある。

一度会場に着いたら消耗品の調達も簡単ではない。『行ってから考えよう』では、通用しないのだ。

■日射シニモ夏ノ暑サニモマケヌ■

会場外では強い日射しとそれを受けた地面からの照り返しにじりじりと炙られ、多少なりとも冷房の効いた館内に入ってやっと一息と思いきや、ホール内は高い湿度と人口密度でじっとりと暑い。

夏コミ参加者に最初に求められるのが、この日射しと気温と湿度の三位一体攻撃をどうしのぎきり、会期中活動し続ける体力を維持できるのかという命題なのだ。



●まずは日射しをブロック

晴れていればもちろん、多少曇っていても、日射しの熱量は大きい。日光は気温を上げるように、肌を日に晒せば直接体温を上げてしまう。それは体力を消耗させるだけではなく熱中症の大きな原因となる。気温が高く、湿度も高い時には一度上がってしまった体温は簡単には下がらない。夏の暑さ対策とは、そもそも最初からいかに体温を上げ過ぎないかにかかっているとも言える。そのために、まずはしっかりと日射しから身体をガードしよう。

直射日光を防ぐ最も簡単な方法は当然ながら日陰に入ることだ。しかし場所を自由に選べない待機列ではそうもいかない以上、自前で日陰を用意するしかない。

そう聞いてすぐに思いつくのは日傘だが、参加者同志が密集している待機列では日傘は全方位に突き出した骨の先端が周囲の参加者の顔や眼の位置に来ることになる。先端が当たれば迷惑だけではなく大きなケガをさせてしまう危険も極めて高いので、コミケットの待機列中では全くオススメできない。ではどうするか、といえは周囲に迷惑にならない日除けを用意するのだ。

●帽子

日射し対策の基本の基本、必須アイテム。キャップよりも頭の全周につばのあるハット型の方がより効果的。熱気が中にこもらない通気性の良いものを用意しよう。日射しのない館内では外しておいたほうがよい。

●バスタオル、スポーツタオル

首や頭からかぶり、首筋や耳の日焼けを防ぎ背中に直射日光が当たるのを和らげる。スカートなどの脚が露出するファッションの参加者は(丈に関係なく)脚にも必ずこれらの日除けをかけて待機しよう。



●手ぬぐい

意外や日本古来の手ぬぐいは夏コミにとっても有効なアイテムなのだ。手ぬぐいはタオルよりかさばらず乾きも早い。何枚か持っていけば、汗拭きに、日除けにと活躍してくれる。凍らせたペットボトルに巻いていけば結露止めにもなるし、重い紙袋の持ち手に巻けば手指の痛みを低減してくれる……と、とても使い勝手が良い。是非用意しておこう（新品はノリ落としのために必ず数回洗濯してから使うこと）。

●日焼け止め

直射日光を肌に受ければ、当然日焼けをする。それが長時間かつ強い日差しの下で、ともなると、ちょっとした火傷レベルとなり、ヒリヒリと痛んで行動を阻害する。

入場待機、または大手サークルや企業など、短時間でも屋外で待機／移動する可能性があるなら、日焼け止めはきちんと塗っておくべきだ。しかも、暑さのため汗ですぐに流れてしまうので途中何度か塗りなおす必要がある。汗や水に強いものを用意するかウェットティッシュタイプのものなども活用しよう。

特に男性は日頃から日焼け止めを塗るといった習慣が無く、用意を忘れがちだ。実際日焼けダメージを受けてからでは遅いので、この日だけは特別と思って必ず持参しよう。



●次に汗をコントロール

暑ければ当然汗をかく。しかし、この汗がクセモノだ。そもそも汗は蒸発する際の気化熱で体温を下げるためにかくもので、暑さに対する身体の防衛機能である。つまり汗をかくだけではダメで、それを効果的に蒸発させなければ体温は下がらないのだ。

しかし、コミケット会場では屋外でも屋内でも高温な上に超多湿だ。湿度が高いとせっかく汗をかいても汗が蒸発せず体温が下がらないために、身体はもっと汗を放出して体温を下げようとして結果的に室内のほうが汗をかく。これを放置していると、脱水症を引き起こしたり、身体に溜まった熱でショックを起こして倒れてしまったりする。この身体がオーバーヒートしてしまった状態を『熱中症』と呼ぶ。

それを避けるためには、汗そのものを自覚的にコントロールしてやる必要がある。

●屋外の場合

ここまで触れたように、屋外では最大の熱源である太陽からの直射日光を日除けや長袖のシャツで避け、風通しの良い服で服に吸わせた汗を効果的に蒸発させてやろう。Tシャツ1枚のように、肌を覆う面積が少なく、かつ日射の熱量が直接身体に伝わってしまうものや、ジーンズ類のように濃い色で熱を集めやすく、かつ汗や水気の乾きにくい服装は屋外待機にはハッキリ不向きだ。また、こまめにうちわなどで直接身体に風を当てる、時折濡れタオルやボディ用ウェットティッシュ類で身体を拭くなどするとより効果的だ。

逆に、いわゆる制汗スプレーなどはコミケット会場ほどの環境では効果が期待できないばかりか、正常な発汗を阻害してしまうので（付け加えるとスプレー類は周囲に迷惑にもなりかねない）オススメできない。汗＆匂い対策なら吹き付けるより拭き取る方でいこう。

●屋内の場合

屋内ではとりあえず日射しという熱源がなくて済むのは助かるのだが、屋外よりも人が多く、その中を連続して行動するために汗が乾きにくい、身体自体が作り出す熱がこもりやすいというマイナス面もある。

屋外待機の時とは逆にできるだけ薄着にし、乾いたタオルでこまめに汗をぬぐおう。汗だくのまま放っておくと、不潔であることも問題だが、先に述べたように熱中症の原因ともなる。『蒸し暑い会場内では汗をかいて当然』と見落としてしまうと、いきなり気分が悪くなって倒れる、という事態に陥ることもある。

薄着になっても服が汗でぐしょぐしょでは何の意味もないので、こまめに着替えるか、乾きやすい化繊系の衣服で少しでもドライコンディションを保つことが大切だ。

その上で、こまめに冷たい飲物を少しづつ飲んで内側からも身体を冷やしてやるとよい。汗をかかないよう水分を控える、というのは本末転倒。きちんと水分を補給し、上手に汗をかこう！



■■降っても晴れても雨対策■■

これまでも何度か雨に見舞われたコミケット。とくに夏コミは雨の可能性が常に存在するので、参加者はそれを頭に置いておく必要がある。

もし、入場待機列や大手の行列に並んでいる時に雨が降ってきたら？

もし、搬入、搬出時だったら？

ご存じの通り、夏の雨は降り出したらあっという間に激しく叩きつけるような強さになることが多いので、雨粒が落ちてきてからどうしよう、と考えても手遅れだ。雨対策は会場に出かける前から始めるべきものなのだ。

■まずは荷物を守れ！

降り始めたら対策を講じられる時間はごくわずかだ。その時間の中でまず何を守るかと言えば、ほとんどの参加者は自分自身よりも戦利品を含む荷物と答えるだろう。

会場で多くの参加者が利用している紙袋は当然雨には無防備だ。家から持ってきた布や化繊のバッグ類も多くは防水性能を持っていないだろう。雨粒が落ちてきてからの僅かな時間でそれらを雨の中でも大丈夫なようにすることはまず無理な相談だと言っていい。つまり荷物の雨対策は、降り出す前、もっと言えば家を出る前から始まっているのだ。

ちなみに、夏の天気は変わりやすく、事前に雨の可能性が無かったとしても、当日本当に降らないかどうかは誰にも分からない。雨対策はもし降ったらを考えて行こうが、当然降らないに越したことはない。無駄になることを願ってしておくものだと認識しておこう。

コミケット参加者の荷物は、そのほとんどが戦利品と、待機&行動のための装備で構成されている。待機中に使う物は会場を歩き回っている時は使わないし、戦利品も、途中で整理はするとしても、基本的には帰宅するまで入れたまま。頻繁に出し入れするのはせいぜい財布と飲物、汗拭きタオルくらいだろう。

ならば話は簡単。家を出る前から持っていく物で濡れては困る物は全てビニール袋類に入れてから、カバンに納めておけばよい。こうしてカバンの中身を一回全て出して再梱包すれば、持っていく物を再チェックできるので忘れ物予防、荷物の最適化も計れて一石三鳥だ。

戦利品も一定量買ったら逐次ビニール袋かブラケースに移していけば、購入物の保護の面でも安心だ。

例え一日良い天気でも汗や湿気で戦利品を傷めることも珍しくないなので、晴雨に関係なく夏コミでは袋や箱に納めることを習慣にしよう。

その上でカバンのポケットに大きめのビニール袋を2枚も入れておけば、いざ降り出した時にも余裕を持ってそれを被せるだけでOKだ。



■そして自分を守れ！

上のように荷物に事前の雨対策が施されていれば、自分自身の身を守る余裕もできる。とは言え、混雑した会場やその周辺では日傘同様、雨傘を広げると周囲の参加者に多大な危険と迷惑を及ぼす。できるだけポンチョやレインコートなどの傘以外の雨を防ぐ用意もしていくことが望ましい。

しかし、高温多湿の状況下でそれらの雨具を着ければ、今度は汗でぐしょぐしょになりかねない。

つまるところ、雨でも汗でも、完全なブロックは困難なので、濡れないことよりも、濡れても素早くリカバリーできることを重視すべきだ。そのためには、綿以外の乾きやすい服や、最低限の着替えやタオルの用意、靴が濡れても足のある程度ドライに保てる靴下といった装備レベルでの準備が必要になる。

しかし、見方を変えれば日除けのタオルは濡れた時にも役に立つし、雨に濡れても乾きやすい服は汗の発散にも優れて炎天下でも快適に過ごせる。晴れていればやはり汗だから着替えはあったほうがいい。もちろん雨具の用意は必須だが、それ以外の服装や装備は、適切なものを選択しておけば、実は雨でも晴れてもアナタの身を守ってくれるのだ。

ちなみに、カップでもポンチョでもレインウェアでも、雨具を着る時はフェイスタオルやスポーツタオルを肩に掛け、つば付きの帽子を被ってその上から羽織り、フードを被ると、ぐっと快適（マシ、とも言う）に過ごせるので覚えておこう。そして、雨でも晴れても足元はしっかりと守らねばならない。いくら乾きやすくて危険なのでサンダル履きはやめよう。

■休憩から夏コミでの活動を考える■

コミケットの一日を通して、当記事ではことあるごとに『休憩、休息を取ろう』と案内している。

もちろん、会期中の1分1秒が貴重なものであることは百も承知だ。むしろ、その大切な時間を最後までパフォーマンスを落とさずに活用しきるためにも、休むという行動が重要なのだと認識してほしい。

休憩も取らずに一心不乱に歩きまわった挙句、早々に体力を使い果たしてへたばってしまったたり、気分が悪くなって倒れたりでは本末転倒だろう。コミケットの会場での過ごし方は、どちらかと言えばアウトドアスポーツのそれに近い。こまめな補給と的確な休憩が、アナタに最大の戦果をもたらすだろう。

●『休むのも参加者の仕事のうちですよ』

さて、アナタが家を出てから会場に着き、並び、歩き、買い、あるいはコスプレをし、設営して頒布し、閉会して人によっては打ち上げや観光まで済ませて帰宅するまで、ほぼ丸一日。

これだけの長時間の外出は日ごろなかなかないのではあるまいか。まして

や、その時間の大部分を炎天下の屋外にじっとしていたり、極度に蒸し暑いホール内を歩き回って過ごすなど、文字通り非日常の極みだ。

早起き、暑さ、運動、重い荷物……と、時間に加えて様々な追加条件もアナタの体力を削りにくる。お祭りの高揚感に紛れて気づきにないが、体力は刻一刻と失われて行く。

『おかしいな、行列ではずっと座って休んでたのに』という参加者もいるかもしれないが、炎天下の行列では日射しと暑さでむしろ体力を消耗しているのだ。休憩はせめて日陰の風通しの良い場所か、屋内で取ろう。

一回の休憩は10分～20分を目処に、ベンチなどに座って取るのが望ましい。

水分補給、エネルギー補給、汗を拭いての身体のクールダウン、日焼けや靴ずれ／めまい／頭痛などの体調不良サインのチェック、戦利品の整理、といったことを済ませるのがコミケットでの『休憩』だ。こう書けば、それがカーレースのピットインのように、これから戦うための力を生み出すためのものと分かるだろうか。

そして休憩を取ってなお、立ち上がるのがキツイと感じたり、何らかの体調不良サインに気付いたなら、その時はこまめに早く会場を離脱しよう。帰宅の道のりだって決して楽ではないのだから、余力があるうちに行動しなければならないのだ。

さらに、会場の休憩場所は限られる。短時間にしっかり休み、他の参加者に場所を譲ってあげてほしい。



●サークル参加者の体力管理

一般参加者のように炎天下に行列に並ぶことはなくとも、サークル参加者も予想以上に体力を消耗する。一日中休憩がままならず立ちっぱなし、あるいは前日徹夜で作業していた、などというサークル参加者は少なくあるまい。

サークル参加者にとって、特にコミケット当日は『特別な一日』だ。それだけに、無理をしてもその緊張感や高揚感でついそれを忘れがちになってしまう。しかし、実際に体力は消耗しているので、“閉会したら気が抜けて立てなくなった”などということも珍しくない。

何より注意が必要なのは午後宅配便へ荷物を運ぶ時だ。思い出したように襲って来る疲労、強烈な午後の日射しと屋外の暑さ、受付場所までの道のりや受付待ち行列に力尽き倒れてしまう参加者は少なくない。

- 会期中はどんなに忙しくても意識して休憩を取り、座って飲食する。
- 荷物を出しに行くときはきちんと帽子や首タオルなどの日射し対策を取り、飲物を持って出る。
- 会場を離れたら早めに飲食店などで休憩と食事を摂る。

といったことを忘れずに心がけよう。『家に帰りつくまでがコミケット』は、サークル参加者にとっても、大切な言葉なのだ。



■■■装備リスト最新版・夏■■■

前回C85の本記事で、『そもそも装備を用途別に分別し、それを目的に合わせて取捨選択して最適化するのが現在の装備運用の主流だ。コミケットでもその概念を活用して、持物を見なおしてみよう』という装備のモジュール化を提案した。

今回もそれに基づいた装備リストの夏コミ用を記載する。

（これまで是一般／サークル／コスプレと参加者区分に合わせて装備を紹介してきたが、それを改め、会場での滞在時間と置かれる温度の面からの装備選択を推奨する）

——■分けることで、荷物を小さくする■——

混雑したコミケット会場では大きな荷物ははっきり言って邪魔だ。でもそれは周囲に邪魔な以上に、アナタ自身にとって邪魔なのだ。大きく、重い荷物をかついで、あるいはキャリーバッグをひいて、人ごみの中を押し合いへし合い移動することは、体力と時間の消耗そのものに他ならない。限界のある体力、限られた時間の中で最大限効率よく動きたいコミケットで、それは大変もったいないことだ。

この場合問題になるのは、荷物そのものの重さよりも、荷物自体の体積だ。自分の体の他に大きな体積を持つ荷物があれば、当然混雑を抜けるのが大変になる（むしろ、皆がその大荷物を持っていることで、より混雑がひどくなる）。

しかし、荷物全体の量は変わらなくても、それを分割分散し、できるだけ自分の体に密着させて全体のボリューム（『前方投影面積』という言葉を使えば、一部の人にはよく分かる概念かもしれない）を抑えれば、それだけスムーズに混雑を抜けることができるし、同時に肩や腕など身体の一部に過剰な荷重がかかるのも防げる。

体力に自信のない参加者も、体力自慢の参加者も、
『必須の持ち物や入場後はあまり使わない待機用品を入れたバックパック』
『館内でよく取り出す物や戦利品を入れるメインバッグ』
『携帯や財布、デジカメなどのよく使う大事な物をまとめたミニバッグ（ポーチ、ベルトポーチ、ポシェット、ミニショルダー、ウエストバッグなど）』
の3分割の収納スタイルを試してみしてほしい。

自分の荷物くらい楽に運んで、体力を有効に使おう。

※ネット上で当Comi-Naviの装備リストをオススメして下さっている方へ。
現在旧版の持ち物リストが多く配布されていますが、最適化の意味でも、
今後は是非、C85／86版をお使い下さい。



●サブバッグ無双

コミケットに役立つアイテムは数あれど、最も使い勝手がよい品を挙げるとするなら、かさばらず折りたためるナイロン製のショッピングバッグやトートバッグ（サブバッグ）だ。ナイロン以外の素材でももちろん良いが、雨のことも考えると化繊が望ましい。

もちろん、購入した本を入れるのだ。混雑した会場内では何か1点購入するたびに他の荷物も入った大きなバッグにしまうのはタイムロスだし、ていねいにしまうのもなかなか難しい。

それならばホールの中では大きなカバンは開かずに、サブバッグを持って買った物はそこに納めていき、休憩を取った時にきちんとメインのバッグに詰め直すのが上手いやり方だ。

サブバグ一杯分買ったら休憩、という目安にもしやすい。

というわけで、あまり大きくなく、丈夫なサブバッグを是非用意して行こう！



『モジュール化版』持物リスト《夏》

バックパック

全員必携

- ☐ 飲物と行動食
500ml2本／栄養バー類 水分は多めに持参してこまめに補給！
- ☐ フェイスタオル2枚
- ☐ 救急用品
絆創膏／常備薬／カゼ薬・胃腸薬・鎮痛剤／メディカルカード
- ☐ 携帯用などの予備バッテリー1
- ☐ 帽子
- ☐ 布バッグ等の折りたためるサブバッグ
- ☐ コンビニ袋等ビニール袋数枚
- ☐ ポケットティッシュ数個

■待機用品（夏）

- ☐ 凍らせた水のペットボトル（タオルで包む）
- ☐ 折り畳みイス
- ☐ 暇潰し用本／携帯ゲーム機など
- ☐ 一食分の軽食（基本行動食に追加する）
菓子パンや栄養バー／ゼリー飲料／羊羹やナッツ類など／塩分を補給できるサプリや食品
- ☐ 予備バッテリー2 待機する場合はバッテリーは多めに持っていこう。

■雨対策装備

- ☐ 折りたたみ傘 できるだけ傘以外の対雨装備を！
- ☐ ポンチョ／レインウェア／45ℓゴミ袋2枚
- ☐ Tシャツ／肌着＆下着／靴下の着替え

■女性用装備

- ☐ メイク用品 メイクは汗で崩れやすい。メイクし直すか、諦めるか。往復のルート、予定も込みで考えよう！
- ☐ 生理用品・鎮痛剤
- ☐ 拭くメイク落とし

サブバッグ

全員必携

- ☐ サイフ①：購入資金のみ
- ☐ サイフ②：交通費・予備費・交通カードなど
普段使ってる財布 購入資金が切れたら試合終了！使い込みはダメ
- ☐ 携帯電話
- ☐ コンパクトデジカメ
- ☐ 免許証、学生証、健康保険証などの証書類

購入品バッグ

- ☐ 配置図／WebカタログやカタROMをインストールした携帯端末
- ☐ 筆記用具
- ☐ 大判ゴミ袋数枚（雨対策予備）

■基本暑さ・日射し対策装備

- ☐ 薄手の大判タオル／日除けストール
- ☐ 団扇／扇子／携帯扇風機など
- ☐ 汗拭きシート類2バック
- ☐ 日焼け止め 男性参加者も日焼け止めは必携！

■待機用追加装備

- ☐ クールタオル、冷えピタ、ミニ扇風機などの体温上昇予防グッズ

■オプション

- ☐ A4／B5プラケース（購入物保護用）
- ☐ ポスター用紙筒
- ☐ スケッチブック 生ものは避ける。自分の連絡先を記した手紙などを付ける。
- ☐ サークルへのプレゼントなど

サークル参加者必携品

- ☐ 参加登録カード／サークル通行証（1人1枚）
- ☐ 見本誌票シール（申込書セットに付属）
- ☐ 新刊／在庫／頒布物各種
- ☐ 釣銭／売上・釣銭入れの袋や箱
- ☐ 値札／卓上ポップ（看板）
- ☐ テーブルクロス（難燃性のもの）
- ☐ 筆記用具／売上記録用ノート
- ☐ 細マジック・カッターナイフやハサミ
- ☐ ガムテープ
- ☐ ゴミ袋
- ☐ スペース内で食べられる軽食・飲物

コスプレ参加者必携品

- ☐ 完成したコスチューム／ウィッグなど
- ☐ 小道具類（運搬時の破損と周囲の安全注意）
- ☐ 着替え入れサブバッグと荷物の開封防止用の鍵
- ☐ メイク道具／ハンディミラー
- ☐ コス着用時に小間物を入れるポシェットやミニバッグ
- ☐ （あれば）コスプレイヤー名刺
- ☐ 冷たい飲物入りミニ魔法瓶、急冷パック
- ☐ ソーイングキット／補修道具／両面テープ
- ☐ 先行入場申込みに当選した人は送付された通行証

※これらの装備は全て持って行く必要はない。自分の参加スタイルに合わせて取捨選択すること。

■■注意！ビギナーズリスク■■

数十万人も人が集まればトラブルだって当然起きる。トラブルの種類も色々あるが、コミケットについて詳しくないビギナーさんには特に注意しておいてほしいこと、ビギナーズ・ラックならぬビギナーズ・リスクとでも言うべきものがある。

知っていれば回避できることもあるので、転ばぬ先の杖として頭に入れておいてほしい。

——■コミケットのリスク管理学基礎編■——

●『コミケの入場券』を買うべからず

コミケットの基礎知識のいの一番が "コミケットには入場券は無い" である。一般に『チケット』と呼ばれているものはサークル参加者のみに発行される開場前の設営作業のための入構証であり、これはサークル参加者以外には譲渡禁止となっている。つまり、オークションや譲渡交換サイト類に出品されている『コミケチケット』は全てアウトなのだ。詐欺まがいのトラブルも多発しているので、絶対に手を出してはいけない。



●安易に『共同購入』に参加すると大変なことに！

「こっちが指示するサークルや企業に並んで新作を指定数購入してくれたら、買い取ってあげる、こっちが同様にまとめ買いした他の有名所の新作を譲ってあげる」こんな『共同購入』の募集を見かけたり、持ちかけられたら要注意。

もちろん友人たちと手分けして、というなら何も問題はないが、全く今回が初対面という相手、しかもコミケットビギナーにそんな話を持ちかけてくるようなグループはほぼ間違いなく、アナタをいいように利用することを考えている。言われるままに会期中何時間も待つような行列に次々と並ぶことを強いられ、途中でぶっ倒れるようなことにならないためにも、キッパリ断るのが賢明な判断だ。

●『ハンドルネーム』は過信しすぎないこと。

今やネットコミュニケーション全盛時代、SNSなどで日頃から意気投合、親しく交流している●●さんと一緒にコミケに行ったら楽しいに違いない。■■さんもサークル参加してるそうだから挨拶に行こう。

でも、アナタは本当にその相手のことを知っていて、相手もアナタを知っているだろうか？

「同行者とはぐれてしまった。連絡取ろうにも相手の連絡先はSNSのハンドルネームしか知りません」「せっかくユウジョウのある●●=サンサークルに行ってしめやかに挨拶したのに向こうはろくに対応をしてくれなかった。サツバツ！」

なんて嘆くことにならないためにも、同行者ならお互いの名前や携帯電話の番号は交換しておくべきだし（その前に本当に個人情報を開示しても良い相手なのかは、よくよく考えてみよう）、自分は親しくしてるつもりでも、相手にとっては多数の中の1人でしかない可能性もあることは考えておこう。

相手が自分を知っているハズ、という思い込みは危険だ。

●『大丈夫』は大丈夫ではない。

コミケットでは、体調が悪そうな参加者に、周囲の参加者が『大丈夫ですか？』と声をかけるシーンがよく見られるが、もし、アナタが特に体調が悪いわけでもないのにそう声をかけられたらどうだろう？

当然のように『あ、大丈夫です』と答えるだろう。だが、本当はアナタはそこで少し考えてみるべきなのだ。『今の自分は周囲から気分が悪い人に見えるのかな？』と。

そこで自分の体調を再チェックしてみよう。本当に、『大丈夫』だろうか？コミケットの会場内では救護室に行くのも会場から出るのも簡単ではない。そして体調は往々にして崩れだすと急速に悪化する。それを防ぐためには、そのタイムラグも見込んで早め早めに休憩を取ったり、帰宅する判断を下すことが必要不可欠だ。せっかく心配してもらったのだから、ありがたくその判断の一助にさせてもらおう。

●『落し物』は見つけにくい物ですか？

もし落し物をしてしまったら、まずは自分がこれまで移動してきた各ホールの準備会インフォメーション（分からなければ周りのスタッフやサークル参加者に訊こう）を順番に戻って、届いていないか確認しよう。また、ホール外で落としていたり、拾った人が帰りがけに届ける場合もあるので、会場であるビッグサイトのインフォメーションでも届けられていないか調べてみよう。その場合は、当日以降に発見された場合の流れも要確認だ。

■しんどい時ほど人の縁が物を言う■

暑く、暑く、その上にも暑い夏コミ。コミケットビギナーはもちろん、例えベテラン参加者でも、どんなに準備を万端にしても、事前に体調を整えても、1日を無事に過ごせる保証はない。

もし突然体調を崩してしまったら……？あるいは何かトラブルが起きたら……？

運良く近くにスタッフがいればいいが、多くの場合そういった状況で頼れるのは周囲の同じ参加者だ。幸い参加者はコミケットの会場内ではどこでも見つけられるので、声さえ掛けられれば比較的簡単に助けてもらうことができるだろう。

それは同時に、アナタ自身も、もし困っていきそうな人を見つけたら助けてあげられるか？ということでもある。

もちろん、過酷な環境下では『自分に人を助ける余裕はないから、せめて人に助けられることのないようにするよ』という考え方もあるだろう。しかし、ギリギリで余裕なんて無い、という人ほど、些細なことで自分が助けられる側にまわるかもしれないのだということは認識しておいてほしい。

それならば最初から『もしもの時には素直に助けてもらおう。でも大丈夫なうちは、逆にできるだけ困ってる人、辛そうな人を助けてあげよう』という考え方でいけば、ずっと楽な気分で臨むことができるのではないだろうか。

もっとも、そのためには、できるだけ自分でも情報収集や準備をし、コミケットのルールを守るという当たり前のことが必要不可欠になってくる。誰だって明らかにルール違反をしていたり、最低限の準備もしていない者を助けたいとは思わないだろう。

つまるところ、助け合いときちんとした準備、というごく基本的なことを、参加者みんなで心がけるだけで、過酷と言われる夏コミだってぐっと快適化できるのです！

CAUTION

本記事の内容は全てコミケット準備会のチェック及び承認の上掲載されているものですが、紹介しているアイテム類や行為はコミケット当日の天候や状況によって使用できなくなるものや、禁止となる場合も発生しえます。最終的には現場のスタッフの判断に従ってください。

『臨機応変』もコミケット参加者に求められる大切な認識です。

本コーナーに掲載している健康面についての情報は専門医学的考証に基づいたものではありません。また、取りあげられている各種事例や方法については個人差があり、必ずしも期待される効果をもたらさない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

本コーナーではコミケットビギナーの為に、参加に際して有用と思われる情報や知っておいて欲しいことを繰り返し、様々な切り口から論じています。過去の記事も併せて読むことで得られる情報の密度が向上しますので、是非下記サイトから過去記事もご活用下さい。

Comi-Navi.comで最新参加情報をCheck!

<http://www.comi-navi.com> twitter:@Comi_Navi

過去のカatalog掲載Comi-Navi記事のバックナンバーやコミケットQ&Aなどを掲載しています。参加前にぜひ一読を！

コミケットをもっと良い場所にしたいというコミケット参加者のための交流サイトがComi-Navi.com。

ビギナーもベテランも、安心してコミケットやイベントの情報交換や質問、ノウハウの伝達ができる場所をめざして活動しています。

情報交換BBSをメインにコミケット支援グッズの企画・製作などのコンテンツで参加者の皆さんを支援しています。

◆コミケット会場でも参加者をサポート！

東1ホール救護室の近くにお助けショップを出展しています。困ったときにはお立ち寄り下さい。

Staff ■Writing: 植村 枉(FORTUNE) ■Illustration: 桜部のとす(PalePink!)
■Web: 大木 真希夫 ■Cooperation: 蒼破(初心者 of 皮)

